

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		林業振興事業				②事業番号		3412	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		平成 14 年度	⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等		法令	条例	規則	要綱	○ 計画等	その他 法令等の名称 泉南市森林整備計画		
⑦実施手法		○ 直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	その他			
⑧関連予算科目コード		款 5		項 2		目 1		細目 1	
⑨担当部名		市民生活環境部		⑩担当課名		産業観光課		会計 一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 本市の森林		① 森林面積		ha	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
・本市の森林は、地域住民の生活に密着した里山から林業生産活動が積極的に実施されるべき人工林帯、天然性の広葉樹と多種多様な構成になっており、市が管理する林道の除草及び修繕等の維持管理を行う。		① 管理林道の総延長		m	
		② 市管理林道路線数		路線	
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
・森林に対する市民の意識・価値観の多様化から、水源のかん養・景観資源など多くの機能を有する貴重な市民の財産としての森林資源の保全・整備に努め利用者に安全に通行してもらう。		① 修繕件数		件	
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
・自然環境の保全や景観の維持向上等個々の森林に対する要請に応じた適切な施設の推進と通行者の安全が確保される。 その他の体系上の位置付け (5—1—2—1): 森林レクリエーションの振興		政策(章)	5	快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
		施策大(節)	1	豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします	
		施策中	2	森林の保全と活用	
		施策小	2	里地里山の保全	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①		森林面積	ha	2,229	2,229	2,229	2,229	—	
対象指標②									
活動指標①		管理林道の総延長	m	20,384	20,384	20,384	20,384	—	
活動指標②		市管理林道路線数	路線	11	11	11	11		—
活動指標③									
成果指標①		修繕件数	件	5	5	5	5	—	
成果指標②									
成果指標③									事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
事業費	投入人員	正職員	人	0.12	0.07	0.16	0.16		
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員 * 単価)	千円	964	562	1,297	1,297		
		直接事業費	千円	1,185	923	1,180	1,048		
総事業費		千円	2,149	1,485	2,477	2,345			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—	
	府支出金	千円	0	0	0	90			
	受益者負担金	千円	0	0	0	0			
	その他特定財源	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	2,149	1,485	2,477	2,255			

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市管理であり、通行者の安全を確保するため、除草や補修が必要となったため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	自動車の通行が増え、管理者の責任問題が取り上げられるようになり、一層日常管理が重要となってきている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	林道等の適切な維持管理により山間部の良好な環境の保全に資するものである。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	森林に対する市民の意識・価値観の多様化を要するため。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	ウォーキングやハイキング利用市民も多く、除草の要望も多い。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	利用者の安全が確保されない。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

B

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	除草や修繕が必要なところは毎年行なっている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	大阪府森林組合との協議が必要。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではありませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	市管理の林道なので難しい。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	市管理であり、通行者の安全の確保のためには必要である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	↓				
	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など			—		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策			—		